

キャラクター名
神無月亮

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
	ブラックドッグ			年齢	機械に年齢はない	性別
オプション	覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	56 %
出自	天涯孤独		経験	実験体	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	128
肉体	4	1	2			7	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	0	0	1			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	8r+6	5	-1		
ヴィブロウィップ	白兵	8r+4	-	10		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
ハードボディ	
ダーマルプレート	
ダーマルプレート	
ダーマルプレート	
ダーマルプレート	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
守護者(ガーディアン)	P	N		
霧谷雄吾	P 尊敬	N 無関心		
機械化兵(フルボーグ)	P	N		
	P 執着	N 嫌悪		
	P 連帯感	N 無関心		
	P 誠意	N 無関心		
	P 連帯感	N 無関心		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を-LVする								
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 判定ダイス+LV								
ハードワイヤード	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: ブラックドッグ専用アイテムをLV個取得し、常備化する。このエフェクトは侵食率によるレベルアップの効果を受けない。基本侵食率+4								
サイバーアーム	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 素手のデータ変更。侵食率でレベルアップしない。基本侵食率+3。攻撃力:+[LV+3]G値:5								
サイバーレッグ	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動:+[LV*2]。戦闘移動でエンゲージ離脱可。侵食率でレベルアップしない。基本侵食率+3								
ペインエディター	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+[LV*5]。侵蝕率でレベルアップしない。侵蝕率基本値+3								
雷鳴の申し子	1	5	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果: 攻撃力+[最大HP-現在のHP]。メインプロセス終了時、HPが0になる。1シナリオLV回								
ハイマニューバー	4	4	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果: 前提条件:《ハードワイヤード》。達成値+[LV*5]。ただし、ブラックドッグのエフェクトで取得した武器を使用していない場合、この効果を受けられない。1シーン1回								
ハイパータフネス	10	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+[LV*3]。侵蝕率でレベルアップしない								
球電の盾	5	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード間、ガード値+[LV*2]								
磁力結界	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード間、ガード値+(LV)D								
マグネットチェイン	1							
効果: スタンシールド								
スタンシールド	6	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 白兵攻撃に対するガードを行った直後に使用。攻撃してきたキャラクターに[LV*2]点のHPダメージ、バッドステータスの放心付与。1ラウンド1回								

「ターゲット確認、戦闘モード起動」
「イレギュラーハ排除スル」

テーマ曲: 『9』『Mechanized Memories』

性格 完全に機械となった彼が感情を不要と断じて、淘汰したため、存在しない。

一人称「私」、二人称「貴方」、三人称「彼」「彼女」。支部長には「マスター」。
生まれた時から既にオーヴァードに覚醒。その時代に使えたのは雷。そして、両親にその事が露見し、気持ち悪がられ、ある店の側に捨てられるが、それがUGN支部であったため、亮はUGN職員に拾われ、UGNチルドレンとして育てられる。小学1年の時に、ブラックドッグの能力を生かす為に現存していた手足を切断され、武器が埋め込まれた義手や義足を着けられる。(その場に居合わせていた研究員曰く、雷を操って、機械を操る。それってブラックドッグの中では最強ですよ。という事らしい)そして、その時のショックで雷の操り方を忘却、感情が薄くなってしまふ。そして、その出来事がトラウマ化。その影響で、顔は常に無表情となり、衝動にも駆られにくくなった。そして、声に生氣を失った。(台詞はひらがなをカタカナで表記する)
最近、自分の身体の脆さを思い知ったので、生身の肉体を研究員に引き渡して、代わりに機械化の手術を受けた。ついでに、さらに無機物っぽさを醸し出すようになった。
あの時から5年経った今、彼はもう完全に人の心を忘れ、UGNや政府によって作られた秩序を守るAIと化してしまっている。最早、彼に心の回復を願うことは無意味であり、彼を人として見ることは無駄である。
人の心を忘れた彼は、トラウマすらも忘れ去り、かつての力を平然と振るう様になる。それは戦闘面では喜ばしいものなのだろうが、人としてはそれでいいのかと問いかけたくなる程に悲しいものだった。
彼は戦闘時は常に電磁波による防護壁を纏っており、それによって衝撃を緩衝している。UGN構成員たちはこれをプライマルアーマーと呼んでおり、彼を最強のAIと信じている。そこに彼の意志はなく、彼の中にも彼の意志はない。彼にとつての己の存在意義とは、秩序を構成する人々を守ることだけなのだから。彼は今日も、ただ淡々と敵を葬り続ける。秩序を破壊するイレギュラーを、世界を破滅に導く怪物を、彼は滅ぼし続けている。来る日も来る日も、彼は死神とし

